



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 市光工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7244 URL http://www.ichikoh.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) サワー ハイコー
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 高森 正樹 (TEL) 0463-96-1442
 四半期報告書提出予定日 2020年8月17日 配当支払開始予定日 2020年9月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	51,713	△22.7	△439	—	△665	—	△636	—
2019年12月期第2四半期	66,906	△6.0	4,016	△19.9	4,172	△29.8	2,756	△40.9

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △1,590百万円(—%) 2019年12月期第2四半期 2,715百万円(△32.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	△6.63	—
2019年12月期第2四半期	28.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	100,963	43,478	42.0
2019年12月期	109,813	45,405	40.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 42,363百万円 2019年12月期 44,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	3.50	—	3.50	7.00
2020年12月期	—	1.00			
2020年12月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	△17.3	1,000	△84.5	800	△89.1	400	△92.3	4.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	96,292,401株	2019年12月期	96,292,401株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	165,198株	2019年12月期	164,996株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	96,127,325株	2019年12月期2Q	96,098,272株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(参考情報) 個別業績の概要	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を主因に内需と生産活動の双方が低迷いたしました。世界経済においても、生産や投資が回復傾向にある中国を除き、米国のGDPが過去最悪を記録するなど、移動制限や都市封鎖などの影響から景気は危機的な状況に直面することとなりました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、日本国内の自動車生産台数は、需要減などから第1四半期から更に第2四半期は落ち込み、前年同期比では大幅なマイナスとなりました。アセアンにおいても、新型コロナウイルスの感染防止などからカーメーカーが工場操業を一時停止した影響などもあり、タイ、マレーシア、インドネシアの3か国ともに自動車生産台数は前年同期比で大幅なマイナスとなりました。また、中国の自動車生産台数は第2四半期に入って回復したものの、特に2月の生産が大きく落ち込んだことなどから前年同期比では減少となりました。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間においては、市光工業グループとして売上高の減少に対応した経費の変動費化を図りましたが、新型コロナの影響は大きく、主力の国内は売上高の減少や厚木新工場への移転に伴うコスト増などから減益となり、海外子会社（アセアン3社と中国1社）は4社合計で減収、4社とも赤字を余儀なくされ、売上高は51,713百万円（前年同期比22.7%減）、営業損失は439百万円（前年同期は営業利益4,016百万円）、経常損失は665百万円（前年同期は経常利益4,172百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は636百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2,756百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自動車部品事業

主力の国内については国内自動車生産台数に比べ売上高の減少は小幅に留まり、アセアンにおいてもタイ子会社における新規車種の立ち上げなどもあり売上高の減少はアセアンの自動車生産台数の減少割合よりも良好な結果となりました。更に、市光工業グループとして売上高の減少に対応した経費の変動費化を徹底いたしました。新型コロナの影響は大きく、主力の国内は売上高の減少や厚木新工場への移転に伴うコスト増などから減益となり、海外子会社（アセアン3社と中国1社）は4社合計で減収、4社とも赤字を余儀なくされ、売上高は48,346百万円（前年同期比22.9%減）、営業損失396百万円（前年同期は営業利益3,968百万円）となりました。

② 用品事業

用品事業におきましては、新型コロナの影響からアフターマーケットの売上が減少したことなどから売上高は3,527百万円（前年同期比15.9%減）となり、ITシステム投資関連費用の増加などあつて、営業損失7百万円（前年同期は営業利益54百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は100,963百万円となり、前連結会計年度末比で8,850百万円の減少となりました。現金及び預金が3,393百万円、受取手形及び売掛金が6,237百万円それぞれ減少したこと等を主因として流動資産が全体で11,148百万円減少した一方で、建設仮勘定が2,076百万円増加したこと等により有形固定資産が全体で2,750百万円増加したこと等によるものであります。

負債は57,484百万円となり、前連結会計年度末比で6,923百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が7,316百万円減少した一方で、賞与引当金が1,618百万円増加したこと等であります。

純資産は43,478百万円となり、前連結会計年度末比で1,927百万円の減少となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動の結果獲得した資金は1,589百万円となりました。主な要因は、減価償却費3,641百万円、売上債権の増減額6,323百万円及び賞与引当金の増加1,619百万円等の増加要因がある一方で、仕入債務の増減額7,112百万円及びその他の流動負債の増減額1,429百万円等の減少要因があること等によるものであります。

投資活動の結果支出した資金は4,084百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出5,041百万円がある一方で、短期貸付金の純増減額（貸付金の回収による収入）1,168百万円があること等によるものであります。

財務活動の結果減少した資金は819百万円となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出564百万円、配当金の支払額336百万円があること等によるものであります。

なお、売上高の低下に伴い営業キャッシュフローは前年同期比で減少しておりますが、当社は、取引金融機関からのコミットメントラインを確保しており、また、親会社ヴァレオからの資金貸借も可能であることから、資金収支上の懸念はございません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、5月21日の開示では、業績に影響を与える未確定要素が多く適正かつ合理的な業績予想の算出が困難なため未定とし、予想が可能になった段階で改めて開示することと致しております。

現状、世界的に新型コロナウイルス感染拡大の傾向に歯止めがかからない状況にあり、国内の感染者数も増加傾向になるなど不確実な要素が多くあります。かような不安定な状況は継続しておりますが、当社は現時点では日本及びアセアンにおける2020年12月期の自動車生産台数は20%を上回る減少幅になるという厳しい見通しを立てており、かかる前提を元に、売上高110,000百万円、営業利益1,000百万円、経常利益800百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益400百万円と予想いたします。

なお、中間配当は株主の皆様への利益還元を継続する観点から1株当たり1円とさせていただきます。

一方、期末配当予想につきましては、今後の経営環境が不透明であることなどを勘案し引き続き未定とさせていただきますが、従来からの基本方針である、(1)内部留保を活用した研究開発および設備投資により企業価値の向上を図ること、および、(2)株主の皆様に対する利益還元の上昇を図ってゆくこと、これら(1)(2)の双方を達成することを経営の重要課題とすることは不変であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,196	4,803
受取手形及び売掛金	20,118	13,881
電子記録債権	1,541	1,337
商品及び製品	4,878	4,138
仕掛品	647	528
原材料及び貯蔵品	3,795	3,755
その他	7,166	6,723
貸倒引当金	△89	△60
流動資産合計	46,255	35,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,351	12,823
機械装置及び運搬具（純額）	13,823	15,211
工具、器具及び備品（純額）	5,049	4,450
土地	3,398	3,380
リース資産（純額）	1,551	981
建設仮勘定	6,587	8,664
有形固定資産合計	42,760	45,510
無形固定資産		
のれん	135	44
その他	1,151	1,138
無形固定資産合計	1,287	1,182
投資その他の資産		
投資有価証券	5,042	4,311
長期貸付金	909	700
繰延税金資産	3,956	4,294
その他	9,609	9,864
貸倒引当金	△8	△7
投資その他の資産合計	19,510	19,162
固定資産合計	63,558	65,855
資産合計	109,813	100,963

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,549	22,233
短期借入金	1,012	1,307
1年内返済予定の長期借入金	1,129	1,129
リース債務	730	171
未払法人税等	1,080	476
未払費用	3,525	3,444
賞与引当金	1,004	2,622
役員賞与引当金	25	77
製品保証引当金	1,739	1,489
その他	6,023	6,276
流動負債合計	45,821	39,228
固定負債		
長期借入金	8,974	8,409
リース債務	490	784
繰延税金負債	182	109
退職給付に係る負債	8,718	8,750
資産除去債務	170	151
環境対策引当金	8	8
その他	40	41
固定負債合計	18,586	18,255
負債合計	64,407	57,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,986	8,986
資本剰余金	2,505	2,505
利益剰余金	34,267	33,294
自己株式	△45	△45
株主資本合計	45,713	44,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,899	1,384
為替換算調整勘定	△2,905	△3,355
退職給付に係る調整累計額	△467	△406
その他の包括利益累計額合計	△1,473	△2,377
非支配株主持分	1,165	1,115
純資産合計	45,405	43,478
負債純資産合計	109,813	100,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	66,906	51,713
売上原価	52,612	42,319
売上総利益	14,294	9,394
販売費及び一般管理費	10,277	9,834
営業利益又は営業損失(△)	4,016	△439
営業外収益		
受取利息	39	41
受取配当金	151	129
持分法による投資利益	122	—
その他	80	50
営業外収益合計	394	221
営業外費用		
支払利息	94	69
支払手数料	22	0
持分法による投資損失	—	161
為替差損	67	155
その他	53	60
営業外費用合計	238	447
経常利益又は経常損失(△)	4,172	△665
特別利益		
固定資産処分益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産処分損	176	4
特別損失合計	176	4
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,996	△670
法人税等	1,232	△9
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,764	△660
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7	△23
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,756	△636

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,764	△660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	△515
為替換算調整勘定	△32	△293
退職給付に係る調整額	68	60
持分法適用会社に対する持分相当額	△135	△182
その他の包括利益合計	△48	△930
四半期包括利益	2,715	△1,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,719	△1,541
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△49

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,996	△670
減価償却費	4,227	3,641
のれん償却額	94	88
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,057	1,619
製品保証引当金の増減額(△は減少)	134	△247
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△222	156
受取利息及び受取配当金	△190	△170
支払利息	94	69
持分法による投資損益(△は益)	△122	161
固定資産除売却損益(△は益)	175	4
売上債権の増減額(△は増加)	3,043	6,323
たな卸資産の増減額(△は増加)	△950	796
仕入債務の増減額(△は減少)	255	△7,112
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,109	△1,429
その他	△65	△910
小計	11,417	2,319
利息及び配当金の受取額	112	165
利息の支払額	△82	△69
法人税等の支払額	△1,666	△825
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,780	1,589
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,309	△5,041
有形固定資産の売却による収入	1	—
無形固定資産の取得による支出	△174	△100
投資有価証券の取得による支出	△9	△10
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△7,556	1,168
その他	219	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,829	△4,084
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,373	336
長期借入れによる収入	5,500	—
長期借入金の返済による支出	△564	△564
リース債務の返済による支出	△2,673	△255
配当金の支払額	△432	△336
非支配株主への配当金の支払額	△3	—
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	452	△819
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21	△78
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,617	△3,393
現金及び現金同等物の期首残高	10,215	8,196
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,597	4,803

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	62,681	3,630	66,312	594	66,906
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	560	562	271	834
計	62,683	4,191	66,875	865	67,741
セグメント利益又は損失(△)	3,968	54	4,022	△23	3,998

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用電球製造販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,022
「その他」の区分の損失(△)	△23
セグメント間取引消去	17
四半期連結損益計算書の営業利益	4,016

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	48,345	2,887	51,232	480	51,713
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	639	640	431	1,072
計	48,346	3,527	51,873	912	52,785
セグメント損失(△)	△396	△7	△403	△57	△461

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用電球製造販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△403
「その他」の区分の損失(△)	△57
セグメント間取引消去	21
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△439

(参考情報)

(個別業績の概要)

1. 2020年12月期第2四半期の個別業績

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	41,139	△21.6	554	△83.1	586	△82.1	393	△81.6
2019年6月期	52,488	△7.8	3,276	△19.2	3,267	△17.2	2,131	△24.8

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	82,882	36,595	44.2	380.70
2019年12月期	88,360	36,980	41.9	384.70

(参考) 自己資本 2020年6月期 36,595百万円 2019年12月期 36,980百万円